

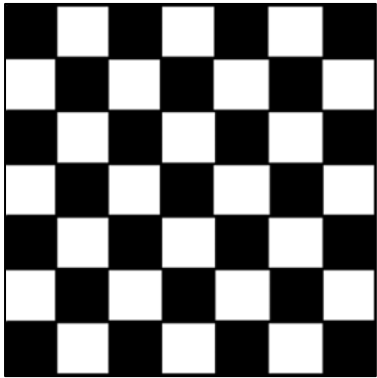


目のイリュージョン（錯視）

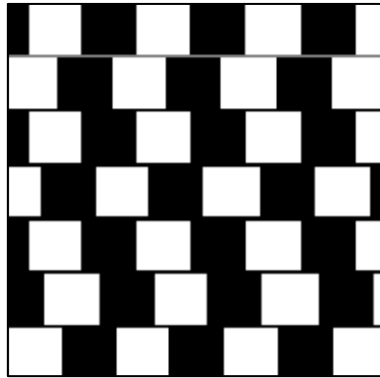


最近自分の目が衰えた。目がかすむ、視界がぼける、視野も狭くなってきた。本・新聞・スマホ・パソコン、TVの字も読みづらくなってきた。見間違ふ・見落とすことが多い。目の老化であろう。これが改善されることはないとおきらめている。正常な目の人でも見間違ふ、錯覚する「錯視」というものがある。目の錯覚である。視覚と思考のパラドックスである「錯視」に挑戦してみた。いろいろな「錯視」の種類がある。面白い現象を楽しんでみた。

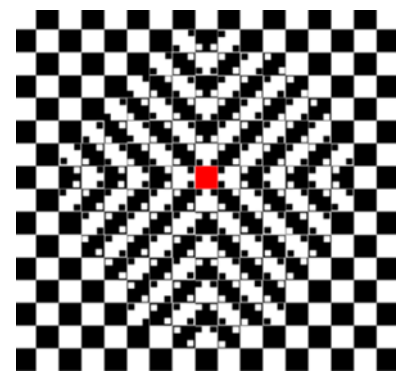
平行線の両側に等間隔に上下互い違いに口■の正方形を描くと、規則正しく並んだ市松模様になります。



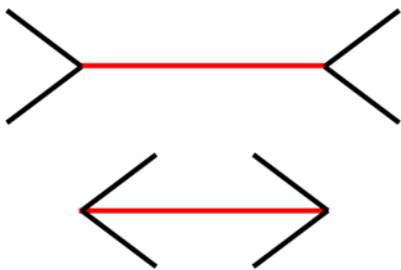
ちょっと市松模様をずらすと平行なはずの線分が歪んで見える。これを「カフェウォール錯視」という。



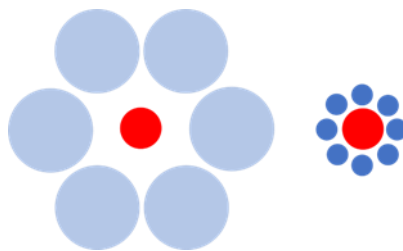
市松模様の中の隅に、小さな■口のコントラストをつけると、3Dの膨らんだ市松模様になる。



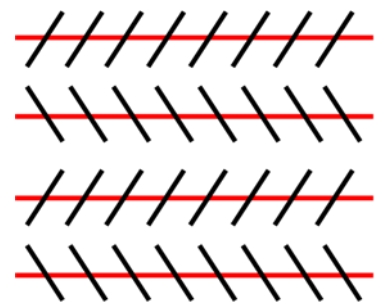
赤い線はどっちが長い？



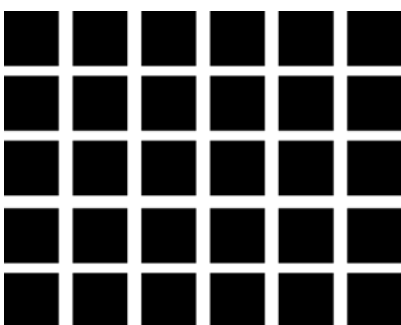
赤い円はどっちが大きい？



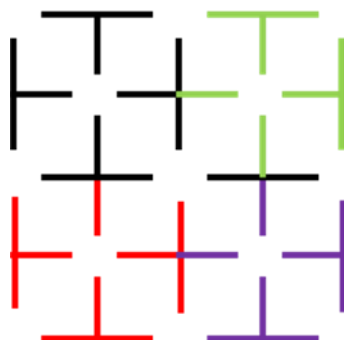
4本の赤い線は平行線か？



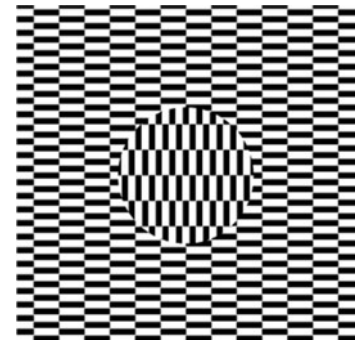
格子状の模様の白の交差点の部分にやや影の灰色になったような●が見える。



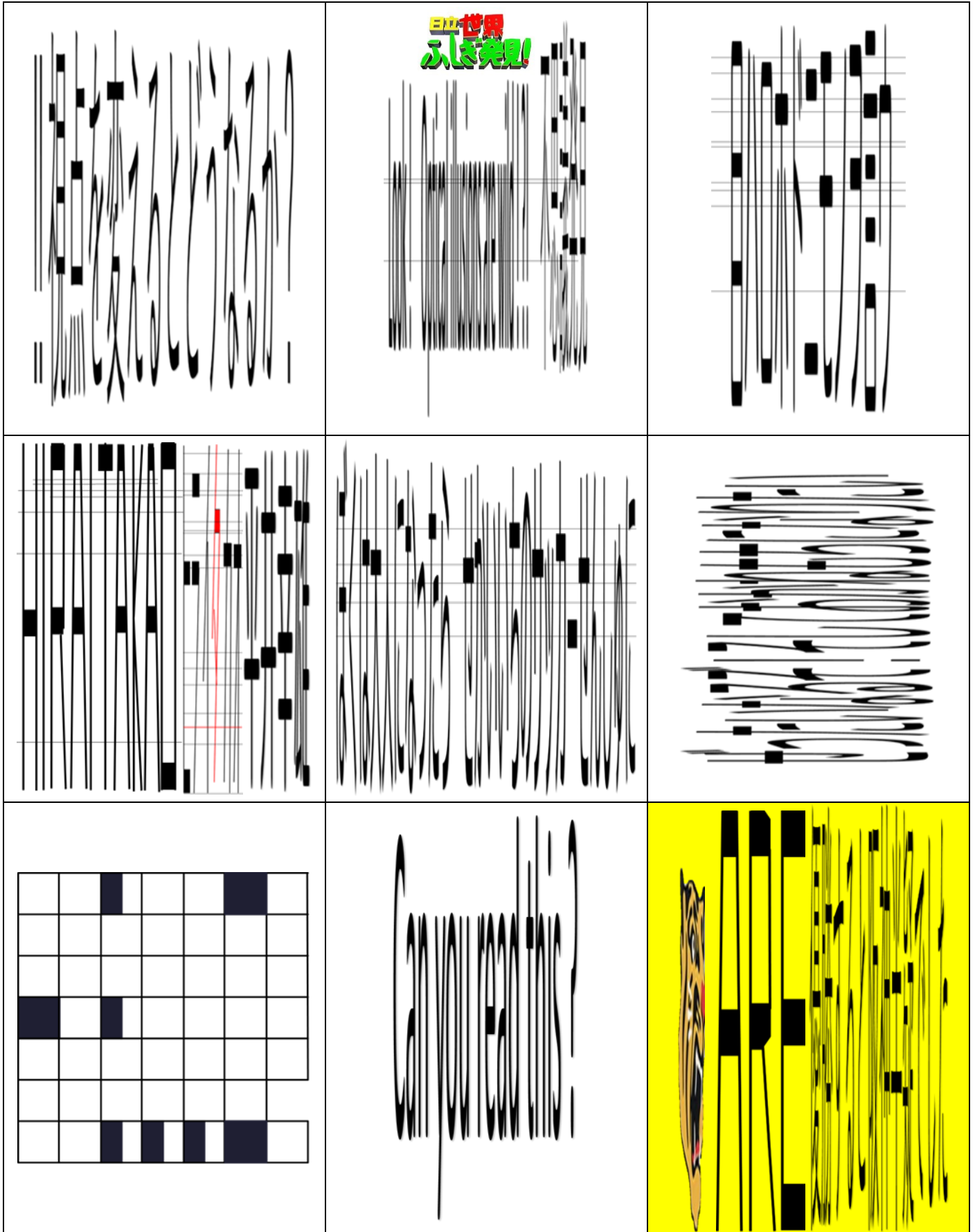
線が交わる交点に明るい円形が見える「エーレンシュタイン錯視」



真ん中の円い部分が、浮遊して動いたように見える「オオウチ錯視」という。



一見何だ？これはという細長い線状のものが並んでいる。これを、紙面を傾けてある角度（紙面の下）から覗くように見ると文字が現れます。これをアナモルファース（変形するという意）という。下のそれぞれの図は何て書いてあるか？紙面を傾け解読してみてください。



「錯視」の動画は、下記 URL (One Drive) からご覧いただけます
<https://1drv.ms/f/s!AiZK9Kv-HkjaqGlv8IWb33vNut-Z?e=uLJz4l>

